

経済学委員会分科会の設置について

分科会等名：経済学委員会 IEHA 分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	経済学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員および連携会員
3	設置目的	IEHA (International Economic History Association, 国際経済史協会) は経済史に関する世界最大のかつ最も権威ある国際学術団体でスイスで法人登記されている。日本は 1965 年に加盟、1972 年より 2005 年 9 月まで、日本学術会議の経済史研究連絡委員会 (経営史学会、社会経済史学会、政治経済学・経済史学学会からの委員で構成) が国内委員会の役割を担ってきた。大会はこれまで 4 年に一度 (2006 年以降は 3 年に一度) 開催され、日本からは多数の研究者が研究報告を行い、1972 年度以降は継続して日本人研究者 1 名が理事に選ばれる (アジアからは一人) など、重要な役割を果たしてきた。経済史研連の廃止に伴い、IEHA の加入窓口は経済学委員会となったが、国内の諸学会との連絡をとる必要があるため、IEHA 国内委員会の役割をもつ組織として IEHA 分科会の設置をお願いしたい。
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. IEHA 総会および理事会との連絡 2. 経済史関連国内諸学会との連絡 3. その他、経済史関連の国際的活動に関する審議
5	設置期間	期限設置 年 月 日～ 年 月 日 <input type="checkbox"/> 常設
6	備考	